

# 共同事業実施結果(令和6年度)

## (1) 市が設置する各種審議会及び専門委員会等への人材派遣に関すること

番号	事業名	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施結果(令和7年3月末時点)
1	伊勢原市行財政改革推進委員会	企画部 経営企画課 行政経営担当	情報マネジメント学部 三浦 智恵子 教授	市の行財政運営の点検を行い、伊勢原市行財政改革推進計画の進捗状況について意見を述べる。	期 日 ①8月19日、②11月13日、 ③1月29日、④3月24日 場 所 市役所 会議室 内 容 伊勢原市行財政改革推進計画の進捗状況 参加者数 8名 成果及び課題 市の行財政運営の点検を行い、評価をしていただいた。
2	【新規】 伊勢原市民文化会館運営審議会	市民生活部 市民協働課 市民文化会館担当	情報マネジメント学部 森本 浩司 教授	改修後の市民文化会館の管理運営について、指定管理者制度の導入の有無や受益者負担の適正化(使用料金の見直し)などの審議を行う。	期 日 12月19日 場 所 市民文化会館練習室1 内 容 諮問に向けた市民文化会館の概要説明等 参加者数 11名 成果及び課題 市民文化会館の運営に関する事項について調査及び審議を行った。
3	平成大山講プロジェクト推進協議会	経済環境部 商工観光課	情報マネジメント学部 古賀 暁彦 教授	神奈川県の新たな観光の核づくり事業の認定を受け、かつての「大山講」のように多くの人が訪れたにぎわいのある大山の再現を目指す。	期 日 8月9日 場 所 伊勢原シティプラザ ふれあいホール 内 容 平成大山講プロジェクト推進協議会の今後について等 参加者数 19名 成果及び課題 当協議会の解散が決定された。
4	伊勢原市日本遺産協議会委員	経済環境部 商工観光課	情報マネジメント学部 兵頭 良純 准教授	文化庁より認定を受けた「日本遺産 大山詣り」の周知・啓発を進め、観光誘客及び地域振興を目指す。	期 日 8月 場 所 書面開催 内 容 伊勢原市日本遺産協議会の総会 参加者数 20名 成果及び課題 日本遺産の取り組みを推進した。
5	伊勢原市社会福祉審議会	保健福祉部 福祉総務課	情報マネジメント学部 橋本 諭 准教授	市長の諮問に応じて社会福祉に関する事項について、調査及び審議を行う。	期 日 11月11日 場 所 市役所 議会全員協議会室 内 容 包括的支援体制整備事業について ほか 参加者数 11名 成果及び課題 専門的見地から御意見をいただいた。

6	伊勢原市都市計画審議会	都市部 都市政策課	情報マネジメント学部 友寄 隆哉 教授	都市計画案件に関する審議等を行う。	期 日	①6月3日②9月6日 ③11月22日④2月5日
					場 所	市役所 全員協議会室
					内 容	①伊勢原駅北口再開発に係る都市計画の変更について 他 ②伊勢原駅北口地区に係る都市計画の決定・変更について 他 ③伊勢原生産緑地地区の変更について 他 ④都市計画道路田中笠窪線の都市計画の変更について 他
					参加者数	①15名②10名 ③11名④14名
					成果及び課題	委員の委嘱と、都市計画の案等の事項に関して協議し、答申をいただいた。
7	【新規】 伊勢原球場スコアボード改修事業(設計・施工) 公募型プロポーザル選定委員会	保健福祉部 スポーツ課	情報マネジメント学部 江口 潤 教授	伊勢原球場スコアボード改修事業(設計・施工)の実施に伴い事業者の選定を行う。	期 日	3月7日
					場 所	市役所2C会議室
					内 容	事業者の審査・選定
					参加者数	審査員6名、事業者2社
					成果及び課題	識見を有する者として、的確な審査を行っていただいた。

## (2) 市民活動、生涯学習活動、文化・芸術活動等への支援に関すること

番号	事業名	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施結果(令和7年3月末時点)	
1	伊勢原吹奏楽フェスティバル	市民生活部 市民協働課 市民文化会館担当	産業能率大学 吹奏楽部 SANNOWインド・オーケストラ	芸術・文化の普及・振興を行う。	期 日	6月16日
					場 所	市民文化会館大ホール 他
					内 容	吹奏楽フェスティバル
					参加者数	延べ2,205名 (内 学生34人)
					成果及び課題	市民文化会館自主事業として多数の参加があり、好評を得た。

## (3) 産業、観光等地域経済の振興に関すること

番号	事業名	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施結果(令和7年3月末時点)	
1	伊勢原観光道灌まつりクリーンキャンペーン	経済環境部 商工観光課	湘南学生サービスセンター 情報マネジメント学部学生	伊勢原観光道灌まつりを通じて、健全な地域社会の発展及び人材の育成を目的として、協働活動による協力関係を推進する。	期 日	10月5日、6日
					場 所	道灌まつり区域内
					内 容	伊勢原観光道灌まつりへにおける清掃活動の実施
					参加者数	100人
					成果及び課題	学祭のPRもしながら清掃活動を行っていただいた。
2	伊勢原観光道灌まつりへの出店	経済環境部 商工観光課	情報マネジメント学部 兵頭 良純 准教授 兵頭ゼミ学生	伊勢原観光道灌まつりへの参加を通じ、市と大学との交流を深めるとともに、協働活動による協力関係を推進する。	期 日	10月5日、6日
					場 所	伊勢原駅北口臨時駐車場(おまつり広場内)
					内 容	飲食出店
					参加者数	—
					成果及び課題	本まつりへの参加を通じ、市と大学との交流を促進し、協力関係を推進した。

3	愛甲石田駅南口ロータリーふれあい祭	都市部 都市政策課	湘南学生サービスセンター 情報マネジメント学部学生	イベントの円滑な進行と地域住民とのふれあいの場を創出する。	期 日	5月18日
					場 所	愛甲石田駅南口ロータリー
					内 容	愛甲石田駅南口ロータリーふれあい祭りにおける司会進行
					参加者数	2000名
					成果及び課題	地域コミュニティの活性化に寄与した。
4	手作り石鹸ワークショップ	経済環境部 環境対策課	産業能率大学 柴田ゼミ 柴田明彦 教授	石鹸作りを通してSDGsの理念を理解し、大山阿夫利神社にて販売活動、ワークショップの企画運営を行う。	期 日	7月20日
					場 所	大山阿夫利神社 客殿、参集殿、石尊、拝殿
					内 容	手作り石鹸ワークショップ
					参加者数	130名
					成果及び課題	会場(客殿)を増やし、2会場計6回ワークショップ実施。県立平塚中等教育学校との連携で異世代コミュニケーション企画実施。継続的な事業展開が課題である。

#### (4) 市及び大学施設の相互利用に関すること

番号	事業名	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施結果(令和7年3月末時点)	
1	災害時における施設使用等に関する協定書	企画部 危機管理課	湘南管理課	災害時の施設使用に係る要請窓口及び担当者を確認する。	期 日	通年
					場 所	危機管理課執務室
					内 容	災害時協力協定に係る窓口・担当者確認
					参加者数	—
					成果及び課題	災害時における連絡体制の強化を行った。

#### (5) その他

番号	事業名	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施結果(令和7年3月末時点)	
1	「情報マネジメント学部の学び方」における市長講演	企画部 経営企画課	情報マネジメント学部 小柴 達美 教授	学生が伊勢原市の魅力を理解し、伊勢原市で学生生活を送るうえでの自覚を持つよう、必修科目として市長講演を実施する。	期 日	3月26日※令和6年度の学生に向けた講演だが、収録は令和5年度中に行った。
					場 所	市役所政策会議室
					内 容	新入生に向けて、市長講演を行った。
					参加者数	経営学部 616名 情報マネジメント学部 367名
					成果及び課題	—
2	瑞木祭における市長による祝辞	企画部 経営企画課	湘南学生サービスセンター 堀内 治義 氏	瑞木祭の開催に対するお祝いとともに、学生が伊勢原市の魅力を理解してもらえるよう、市長からの挨拶を行う。	期 日	11月2日
					場 所	産業能率大学湘南キャンパス
					内 容	瑞木祭の開催にあたり、市長から祝辞を述べた。
					参加者数	—
					成果及び課題	—

3	ソーシャルビジネス講義	企画部 経営企画課 広報戦略課 都市部 市街地整備課 教育部 教育総務課	情報マネジメント学部 小柴 達美 教授 兵頭 良純 准教授	地域の自治体の関わりや方針などについて、実例に触れることにより、地域の持つ特性や課題を認識し、ソーシャルビジネスの方向性について考察する一助とする。	期 日	12月3日
					場 所	産業能率大学湘南キャンパス
					内 容	伊勢原市のまちづくり
					参加者数	学生100名
					成果及び課題	—
4	就業体験学生(インターンシップ)実習事業	総務部 職員課	情報マネジメント学部 勝間 豊 教授	行政に参加する機会と情報を学生に提供する。	期 日	8月5日～8月9日
					場 所	市役所ほか
					内 容	各所属における行政実習体験
					参加者数	3名
					成果及び課題	地域の大学と連携した人的資源の活用が図られた。
5	大学生向け食育情報等の配架	保健福祉部 健康づくり課	湘南学生サービスセンター センター長	伊勢原市が作成した大学生向け食事育情報ちらし等を食堂等に配架し、栄養バランスの取れた食生活を促進する。	期 日	3月から配架
					場 所	湘南キャンパス学生食堂
					内 容	食育に関する情報
					参加者数	—
					成果及び課題	年度ごとに違うテーマの情報提供ができた。
6	SANNO CUP 2024開会式における市長列席	企画部 秘書課 保健福祉部 スポーツ課	湘南学生サービスセンター 情報マネジメント学部学生	SANNO CUP 2024開会式において、市長が祝辞の述べる。	期 日	10月12日
					場 所	産業能率大学 湘南キャンパス ビーチハレコート
					内 容	開会式における列席及び祝辞
					参加者数	16チーム 200人
					成果及び課題	市長が列席し祝辞を述べた。
7	放課後子ども教室	子ども部 青少年課	情報マネジメント学部 学生	放課後の時間に児童が学習や工作、スポーツ等の活動を通して、地域の大人や学生など様々な年齢の人々とふれあう。	期 日	5月～3月
					場 所	市内10小学校
					内 容	工作教室、科学実験、スポーツ体験、マジックショー、自主学習など
					参加者数	伊勢原小学校:61人、石田小学校:85人、竹園小学校:71人、成瀬小学校:92人、比々多小学校:80人、大山小学校:21人、桜台小学校:132人、高部屋小学校:70人、緑台小学校:83人、大田小学校:74人
					成果及び課題	放課後子ども教室の運営を支援するボランティア募集を計画していたが、コロナ禍の影響等により、従事する学生に対して募集を依頼するまでには至っていない。